



—東地中海地域ニュース—

エジプト・イラク：第6回イラク周辺国内相会合

(10月15日付エジプト各紙)

10月14日、エジプトのシャルム・ル・シェイクで第6回イラク周辺国内相会合が開催された。15日付現地各紙の報道の概要は、下記の通りである。

1. 本会合には、今回の議長国であるエジプトの他、イラク、サウジアラビア、シリア、ヨルダン、バハレーン、イラン、トルコ、クウェイトの内相、及び国連、アラブ連盟、イスラム諸国会議機構(OIC)からの代表者が参加した。
2. アドリー・エジプト内相の開会スピーチ
 - (1) アラブ地域は緊張に満ちており、予断を許さない状況下にある。エジプトは、政府・国民共にイラクの独立及び安定の実現に努力を惜しむことはなく、イラクが再び国際的・地域的舞台に復帰するまで支援する。
 - (2) イラク安定のための要素を強化・支援する必要がある、だからこそ、治安の強化、テロに対抗するためのイラク周辺国間の支援と協力が求められている。
 - (3) 同胞であるイラクのために、我々は国連やイスラム諸国会議機構、アラブ連盟の国際的・地域的協力も得つつ、如何なる対立も乗り越える能力があるという自信の下で新しい一歩を踏み出す努力をする。
 - (4) 中東地域の全ての国家が国土を、テロリストによって要員の徴集・訓練・戦略計画や資金援助の基地として使用されることを防ぐために、必要な措置を取ることが重要である。この措置を実効的なものにするために、二国間協力及び集团的協力を強化せねばならない。
3. エジプト・イラン内相会談
 - (1) アドリー・エジプト内相は、イラク周辺国内相会合開催中に、ナッジャール・イラン内相と会談し、二国間の治安問題に関する共通関心事項について話し合った。
 - (2) 会談でアドリー内相は、エジプトとイランの二国間の内務省の信頼関係を称賛し、両国の関心のある治安問題について見解が一致していることを評価した。
 - (3) アドリー内相はイラン内相に対して、同胞であるイラクへの支援を継続することを強調しつつ、現在のイラクの治安情勢について吟味をした。

(注：イラク周辺国内相会合は、第1回会合が2004年にイランで開催されて以降、トルコ、サウジアラビア、クウェイト、ヨルダンにて開催)

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799